

合言葉は「触れる」、「知る」、「創る」!

子どもが実際に体験したことを通して自己を成長させていく生活科、自ら設定した課題を自ら考えた方法で解決していく総合的学習の理念や構造を学びます。子どもたちは、実際に「触れる」ことを通して、人・自然・社会のこと、そして自分自身とそれらとのつながりを「知る」ことができます。その経験を基に、自分や他者・自然・社会の未来を「創る」ようになります。本専修では、そのような子どもの生活経験を見取り、伸ばしていく教員の資質・能力を養成しています。

4年間の学び

生活科と総合的な学習の時間の理論と実践を学修し、専門性を高めていきます。生活・総合の理論やカリキュラム論について学ぶ一方で、学生自身が主体的・实际的に「触れる」、「知る」、「創る」活動をしたり、小学校で授業見学・授業検討をしたりする中で培った資質・能力を生かして教材づくり・授業づくりをしていきます。

特色ある授業・ゼミ紹介

子どもが主役の学びを子どもと触れ合って学びます



時にはキャンパスを飛び出して学校現場で生の授業、子どもの学びの姿に直面します。



大学では学校現場で触れ合った子どもをイメージして、1時間の学びを構成します。



考えた学びは教師の目線で単元化し子どもたちに提供します。

2022年 2年次後期の時間割 (例) 中学校教諭免許教科「理科」を取得した場合

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等国語科教育法A	生物学演習	学校体験活動Ⅰ	中等理科教育法CⅠ	
2時限	初等英語科教育法A	生活科カリキュラム論	学校体験活動Ⅰ		
3時限	地学Ⅱ	生活科・総合的学習授業論	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	化学実験／地学実験	
4時限	キャリアデザインⅡ	道徳教育の理論と方法		化学実験／地学実験	化学Ⅱ
5時限	キャリアデザインⅡ			化学実験／地学実験	

*上記時間割で示した授業科目以外に遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「情報の活用と管理」「学校保健・学校安全」があります。

主な授業科目

- 生活科教育概論Ⅰ
- 生活科教育概論Ⅱ
- 生活科教材論
- 生活科カリキュラム論
- 生活科・総合的学習授業論
- 幼小連携教育論
- 生活科教育専門演習
- 初等生活科教育内容B
- 初等生活科教育法B

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】
小学校教諭一種免許状

【取得を優先して薦める免許状】
中学校教諭二種免許状^(※)
◎特別支援学校教諭二種免許状

【所定の科目履修で可能とする免許状】
中学校教諭一種免許状(中学校二種の教科)
◎幼稚園教諭二種免許状

※入学手続き時に行う意向調査(中学校教諭二種免許状の希望教科(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語))に基づき、大学が決定します。できる限り希望に沿うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することにより、第1希望の教科を履修できない場合があります。

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice



学校教員養成課程
義務教育専攻
生活・総合専修3年
岐阜県立大垣東
高等学校出身

体験学習を通じて、子ども自らが学びを深め、
主役となれる授業ができるようになりたい。

本専修は他の大学ではあまり見ない学科です。子どもたちを大学に招いての授業実践や自分たちが栽培した野菜を使った調理体験など体験的な活動が多いのが特長。また実際に小学校の研究授業に参加して、学生同士で話し合う授業はお互い刺激になります。目的ごとの演習室が複数あり環境が整っているため、授業外でも主体的に学べます。先生方は学外での活動など、さまざまな実践の機会を与えてくれます。また自らも学び続ける姿勢を私たち学生に示してくれます。将来は子どもが夢中になるような授業をしたいと考えています。